

これは、ひとりの個人の年1200万円10年間の寄附を原資とし、
その他多くの方々の寄附をいただいで活動しています。

震災子ども支援室 “S-チル”

S-チルのSとは

さん しんさい そうだん
3月の震災後の相談のSから始まり、
すこ せいちょう
子どもたちの健やかな成長と
しあわ ささ
幸せを支えることを目指すS、
チルはチルドレンです。

高校を卒業しても、地元を離れても、
いつでも、どこからでも相談ができます。

あなたの相談相手として

- 学生生活のこと
- 将来のこと
- 進路のこと
- 友人のこと
- 仕事のこと
- 家族のこと

など

保護者の方も相談できます

- 保護者自身のことに関する相談
- 家族関係に関する相談
- お子さんの将来に関する相談

など

お問い合わせ

相談料・通話料無料 〈家の電話、公衆電話、携帯電話からもかけられます。〉

 **0120-37-6241** みんな むつ まし い 【受付時間】月曜～金曜
午前9時～午後5時

<http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>



“S-チル” 3つの理念

東北大学では、東日本大震災で親を亡くされた子ども達、大切な人や物をなくされた子ども達の成長の道のりを、長期的に支援していきます。



時間の中での支援

成長に伴い新しい環境や人間関係に身をおくことになると、抱える問題や悩みも変わってくるでしょう。今の生活のなかでの困りごとなど、一緒に考えていきましょう。



関係の中での支援

相談相手が次々に変わるのではなく、同じ支援者が継続的に支援をしていきます。



文化を考慮した支援

あなたが、地元を離れてどこに行かれても、あなたが育った東北の文化を大切にして、お話を伺います。

お問い合わせ

東北大学大学院教育学研究科

震災子ども支援室“S-チル”

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 TEL&FAX: 022-795-3263
E-mail: s.children@sed.tohoku.ac.jp

相談料・通話料無料
フリーダイヤル



みんなむつましい
0120-37-6241

<http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

【受付時間】月曜～金曜
午前9時～午後5時

